

賢くリッチに生きる女性の情報紙

# みゆ〜ず



月刊みゆ〜ず・暮らしの情報のバックナンバーはホームページでご覧になれます。

## 明るい インドア人間 〜エミの日記〜



働く女性紹介編その30

「八女高校ALT／英語指導助手  
Nancy Tran (ナンシー・トラン)」

福岡県立八女高等学校  
筑後市和泉251番地

輝くような真っ白な歯を見せて、はつらつとした笑顔を見せるナンシー。彼女を見ていると「健康的！」という表現がすぐに浮かびます。移動の手段は、もっぱら自転車。雨の日でも合羽を着て、グングンこぎます。ある暑い夏の日、筑後から八女までランニングしながら移動している彼女を見かけてびっくりしたこともあります。また、とっても几帳面で、何事にもきちんとした姿勢でいつも取り組んでいます。

昨年の8月から1年間、福島高校でALTを勤めました。先月、八女高校へ赴任したばかりです。英語を教えている一番うれしいことは、生徒と英語で会話できた時。それは、生徒が確かに何かを学び取ってくれた、と実感できる瞬間でもあります。反面、英語に意欲を示さない生徒に対し、どうやったらやる気を引き出すことができるのか、難しさを感じることもあります。ナンシーは、アメリカ・カリフォルニア州のロングビーチ出身。大学では、社会学と地理学を学んだというだけあって、旅行が大好き。夢は、世界中を旅行して、世界の様々な食べものを食べてみることに！

筑後市に住んで1年が経ちますが、お気に入りのレストランは、八女の3号線沿いにあるインド料理店"Bishnu"。また、筑後の運転免許試験場そばの"CiAO DOLCEZZA"のパスタもおすすめ。

「食べることが大好き！」スリムで運動系のナンシーが言うと、どんどんお食べなさい♪と言いたくなりますが、なんだかそう言いながら、自分の身を隠したくもなります。なんとって、私の場合は、食べることに大好き！でも運動大キライ！なもので…トホホ(汗) (大坪 エミ)

## “Say what?”

伊之坂ミキ



アメリカ里帰りから帰ってきて5日間がたちますが時差ボケがまだまだ治りません。1週間がたったらよくなるでしょう。朝早くから起きることがいやではないのですが昼間に眠くなるのがためになります。

今年の里帰りは毎年とあまり変わりませんでした。家族と過ごしたり、友達に会ったり、買物に行ったりしました。同じ所ばかり行きました。なのに、何かが違うと感じました。

それがまわりの経済状況です。一番目立ったのは売り家の看板です。とても多かったです。びっくりするほど。それと、ガソリンの値段が上がったくせに、車を利用する人が少なくならず昼の3時から6時半まで高速道路が恐ろしいほど混雑しています。その高速道路に乗る手前のところこじき(ホームレスの人がサインを持って、「食べ物がない、仕事がない、なんでもいいから助けて下さい」が書いています)が前の年よりだいぶ増えたような気がします。悲しくなりました。次の大統領選挙がアメリカ人にとって、とても大切です。すぐよくなるかどうか分かりませんが希望が高いです。経済状況なんて、快とジェイミが何もわからなくて、グランマとグランパに会ってうれしくてたまらなかったようです。その場において、楽しいことを見つけて、1日終わらせる子供達を見て、うらやましかったです。

# 旅ゴタエ 大分

食べごたえのある美味しさ。  
歩きごたえのある街。  
浸りごたえのある温泉。  
ココロもカラダもほぐされる旅。

**JR 旅情報**  
JR九州  
ご予約・お問い合わせは  
羽大塚駅まで TEL0942-52-5090

列車で エコ  
列車はCO<sub>2</sub>の排出量が少ない乗り物です。

キャンペーン期間 2008 10/1 ▶ 2009 3/31

## お誕生日おめでとう



池末航葵ちゃん  
H19・9・20生  
八女市吉田

1才おめでとう！  
双子のお兄ちゃん達と仲良く  
元気でたくましく育ってネ!!

街歩き 温泉 食

JR 宿泊セットプラン + 往復JR (乗車券・特急券) 宿泊 JR 日帰りセットプラン + 往復JR グルメ (昼食)

旅ゴタエ 検索 http://www.tabigotae.com

## グリーントマトの 子育て日記 へそのゴマ

子どもの頃、おばあちゃんから言われていた。「へそのゴマを取ったらお腹が痛くなるよ」と。私はすっかりそれを信じ、42歳になるまでへそのゴマを取ったことがなかった。そりゃ少しは気になり、ちよっと一粒ばかり取ろうとしたこともある。でも、なぜかそうしようとする、お腹がチクリと痛むような気がするのだ。「いかん、いかん。おばあちゃんの言う通り、取らんようにしとこう」そう思いどどまっ、42歳まで来た。別段これまで誰も私のへそのゴマに対してとやかく言う者もいなかった。

へそといえ、修学旅行の時なんかは船酔いをしないようにと、これもおばあちゃんに言われて、へそに梅干をテープで貼って行った。実際船に酔うこともなく助かったのだが、夜、皆でお風呂に入る時になって困った。一人こっそり隠れてはがしたのを覚えてる。

そんな事もあった私のへそ。42年間のゴマがたつぷりと埋まっていた。

ある日、友人が私のへそを見て驚いた。「何これ？もしかしてゴマ？」と、興味深げに覗くではないか。友人は「こんなにたくさんゴマが詰まったへそは見たことない」と笑い転げた。

私は不思議だった。だって、おばあちゃんの話では、へそのゴマを取るとお腹が痛くなるのだから誰もが当然取っていないものと思ってい

たからだ。

「へそのゴマって取るものなの？」私は生まれて初めてその事を知った。カルチャーショックだった。私だけがへその情報から取り残されていたのだ。触らずそつと大事にしすぎたへその穴の中。そういえば妊娠した時、ぱーんと張ったお腹はへその穴がなくなりかけ、同時にへそから黒い物が出てきた。私はそれは、赤ちゃんの時に切ったへその緒が残っていたのだとばかり思っていたが、今考えると、それはへそのゴマだったのだ。

友人は愉快な実験でもするかのよう、ニタニタしながら綿棒をオイルでぬらしてへそを触った。すると、親指ほどのつかい丸い黒いものが綿棒に付いてきた。またまた驚いた。おばあちゃんがあんなに言っていた禁断のへそのゴマは、こんなに簡単に取れるものだったのか。しかもお腹はいっこうに痛くならない。騙された！この年になるまで。

私はその友人と出会わなければ、一生ゴマを取らなかつたに違いない。私ばかりか、我が子にもおばあちゃんから言われた通りに伝えていた私は、子どものへそをもゴマで真っ黒にするところだった。

それにしても、なぜ、あんな事をおばあちゃんから言われたのだろう。へそを扱っていた私への、お腹を大事にするようにというおばあちゃんへの優しさかもしれない。今頃、おばあちゃんは天国でニタツと笑っていることだろう。(志穂)

## ナチュラルサポートって何？

「町内の出事は少し緊張するね」と話をする2人の女性は、性格も感覚も全く違う知的障害者です。2人でアパートで暮らし始めて2年あまり、地域での生活にもなれた様子ですが、日々、新しいでき事にぶつかり右往左往したり、また、楽しい事も沢山あるようです。例えば資源ごみ出しの日、ごみ収集所で割れた茶碗をどこに置くのか戸惑っていると、「ここに入れてね」「新聞はここよ」と近所の人に教えていただいたそうです。その地域のルールをひとつ覚える事ができたようです。相談室に來られ話された時の彼女の顔が明るく輝いていました。「自然の、ありのままの、普通の支援」つまり、地域社会の中で自然に行われる支援がナチュラルサポートだと考えます。(△)

筑後市障害福祉なんでも相談室「ちくたくネット」  
一周年記念講演会  
-障害のある人への地域生活支援について-  
日時：平成20年10月18日(土)  
13時30分～16時30分  
会場：筑後市総合福祉センター 2階大会議室

\*手話通訳を依頼しています。  
《お問い合わせ先》 筑後市社会福祉協議会  
連絡先：障害福祉なんでも相談室「ちくたくネット」  
☎ 0942-52-6699  
☎・FAX 0942-52-6764  
✉ chikutaku-net@tune.ocn.ne.jp